



イマジン ロータリー

RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

2022-2023年



Rotary  District 2640 JAPAN

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 中村 俊之 幹事 千賀 知起 SAA 田中 淳

第 2131 回例会

2023 年 3 月 20 日 (月)

海南商工会議所 4F 12:30~

IDM報告

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
3. 出席報告
 会員総数 44 名 出席者数 25 名
 出席義務規定適用免除会員 3 名
 出席率 60.98% 前回修正出席率 87.80%

4. 会長スピーチ

会長 中村 俊之 君

皆さんこんにちは。本日も例会に出席いただきありがとうございます。

本日の例会は、先日来開催された IDM の報告となっています。アフターコロナでなかなか出来なかった活動や事業、次年度に向けての取り組み、50 周年についてと大きくこの 3 つのテーマで皆さんの意見を出し合ってください発表していただきます。コロナウイルスが 2 種から 5 種になり、今までできていなかった行事や事業を徐々に復活していくと予想されます。また、次年度は 50 周年に向けての準備の年でもあります。そのような中で次年度やりたいこと、やってほしい事など貴重な意見をたくさんいただけると期待しています。

また、50 周年に向けては先日も報告させていただいた通り本年度中に 50 周年記念実行員会を立ち上げ準備にとりかからなければならず、より皆さんの意見をお聞きしたいテーマとなっています。40 周年が行われた時には、私も入会させていただいていましたが、情けない話ほとんどの事を覚えておりません。本年度中に実行委委員会を立ち上げるのも決して早いとは言えず、50 周年年度会長予定者田岡さん、実行委員長谷脇さんを筆頭に、歴代会長さん方にも様々な経験に基づいたアドバイスをいただきながら、来年度中にはおおむね準備が終え



るくらいの気持ちで臨んでいかななくてはなりません。50 周年に向けて会員みんながまさに「ワンチーム」となって 50 周年に取り組んでいくうえでも貴重な発表になるのではないかと考えています。

各班発表担当の方、後ほどよろしく願いいたします。

【報告事項】

台湾彰化東南ロータリークラブさんが 4 月 8 日より来訪されるとの連絡が、寺下さんに届いたという事を以前ご報告させていただきましたが、先週、正式に今回の来訪はスケジュールの都合上中止となり、年末か来年に改めて来訪を計画しますとの連絡がありました。それに伴い、4 月 3 日の夜例会を 10 日に変更して、歓迎例会とする予定でしたが、本日案内を配らせております通り、例年通り 4 月 3 日夜 7 時より「花見例会」として藤白「佶風」にて開催することといたします。

家族会は、5 月 21 日午前中に日本酒酒蔵見学、午後は神戸ランチクルーの予定です。

たんぼぼの会の支援は今年もカヌー等のイベントは行いません。今までは¥50,000 支援していたが、他の子供食堂と同額の¥30,000 とします。

5. 幹事報告

幹事 千賀 知起 君

○例会臨時変更のお知らせ

- | | |
|-----------|--|
| 和歌山北 RC | 4 月 3 日 (月) → 1 日 (土) |
| | 12:30~16:30 アバローム紀の国
インターシティーミーティング |
| | 4 月 10 日 (月) → 8 日 (土) |
| | 10:00~11:30 和歌山城
(和歌山城清掃例会) |
| | 4 月 17 日 (月) → 17 日 (月) |
| | 18:30~ ダイワロイネットホテル
創立 44 周年記念夜間例会 |
| 和歌山東南 RC | 4 月 5 日 (水) → 5 日 (水) |
| | 12:30~ 和歌山城二の丸庭園
「お花見例会」 |
| 有田 2000RC | 4 月 5 日 (水) → 2 日 (日) |
| | 1000 回記念移動例会 |

3月 は水と衛生月間です

四つのテスト 実行はこれに尽してから

①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
 ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002
 海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
 TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

那智勝浦 RC 4月6日(木) → 6日(木)
12:30～ グリンピア南紀跡地
「花見例会」
4月20日(木) → 20日(木)
13:00～ 那智勝浦町消防署
「職場見学」

○休会のお知らせ

有田 2000RC 4月26日(水)
那智勝浦 RC 4月27日(木)

6. IDM報告

○1組、6組

発表：魚谷 幸司 君

3月7日、美登利にて1組と6組合同で9名の参加で開催いたしました。会長エレクト、会長ノミニ、歴代の会長もそろいスムーズに話が進むと思っておりました。ただ、あらぬ方向に進むことが多く、ややまとまりに欠ける面もありましたが、大変有意義な会となりました。



①次年度についてですが③のアフターコロナと重なる面が多々あると思いますので、まとめてお話しさせていただきます。岸さんより2023～2024年RI会長エレクトの方針が「世界に希望を生み出そう」ということとお話頂きました。ロシア・ウクライナ紛争の終結を祈ってのものが中心と思いますが、コロナの収束を期待し、どの分野においても活発な交流をしていこうという意味も含まれていると思います。楽しめる例会づくりをして出席率を向上させることを考えたい、というご意見を頂きました。

例会において食事の時間にもう少し会話が増えてもいいのではないかとということで、席の配置を考えては？との意見も出ました。

ここ数年途絶えていた姉妹クラブ、友好クラブとの交流を積極的に行いたい。どんな形でも他者との交流を増やし、汗をかいての奉仕活動の機会を増やしたい。子供を中心として若者は元気がないので、子供、孫を含め家族ぐるみの交流の機会を増やしては？カヌーでも山登りにもお付き合いしますというご意見もいただきました。

②50周年についてですが、40周年事業に準ずるものであるが、50周年ということで規模も大きくなる。式典におけるお客様の選定(海外からも)など課題は山積している。早い段階から準備に入ってほしいとのご希望がありました。今一度、他クラブの周年行事を吟味し、参考にできるものを探したいというお話もありました。

記念事業、行事として、下津に新設される道の駅などに記念樹や標語の看板設置などを考えてはどうか。興味のある話題を振りまいてくれる著名人の講演会をしてはどうか。野球やサッカーなどのスポーツイベントを開催してはどうか。

今まで周年行事としてゴルフ大会が催されてきましたが、ゴルフをしない人もたくさんおられるので、より多くの方が参加できるボーリング大会を考

えてもいいのでは？との意見が出ました。会場としてマリーナシティホテルに限定せず、規模の問題もありますが海南駅前のできるホテルルートインでの開催を考えてもなどのご意見が出ました。その他特に発表できるものはありませんが、上田さんの独演会と言いますか武勇伝を聞く会になりました。

○2組

発表：才力 昭浩 君

3月7日、うたげで開催しました。参加者は7名でした。

①次年度について、例会の出席を上げたい。夜例会を月1回から月2回にして、1回は今まで通りで。ふえた1回はアルコールはなしで。飲みたい人はお金を払って飲んだらどうか。



②50周年について、日程調整して、全員協力して盛り上げたい。

③アフターコロナについて、ズームは今までどおり続けていったら。世の中のながれにそってやっていく。

○3組

発表：岡 洋平 君

テーマ①次年度について、特に意見はなく、次年度役員会におまかせしますという結論でございました。ただ、話し合いの中で子供食堂の状況等を山畑リーダーから聞かせて頂き、勉強になりました。



テーマ②50周年について、1. 記念になるモニュメント等検討する場合は、海南市内だけでなく紀美野町にも、同様に検討していただければという意見がありました。2. ゴルフコンペ開催の際には、50周年という節目のタイミングでもあり、他のクラブの方おさそいしてはどうかという意見がございました。3. 式典等の会場についてですが、海南市にノビノスという立派な会場ができましたので、ノビノスを利用してはどうかという意見が出ました。

テーマ③アフターコロナについて、消毒液の設置等現状のままの準備はそのまま使用するしない、マスクの着用に関しても個人の判断にまかすで良いのではないかと意見です。

テーマ④その他、トルコへの支援はどうなっているのかという話題が出ました。トルコとゆかりのある和歌山としては、積極的に支援すべきではないかと言う意見でございます。

○4組

発表：前田 誠史 君

7名全員参加で行いました。

場所は今回初めてのようですが、和歌山アロチのいわ橋(和風高級居酒屋)で行いました。

私以外みなさん熟練の方ばかりで、話がスムーズに進みすぎて報告者の私としては非常にまとめやすい、いや相槌が多く、まとめづらい会議でもありました。



ミーティングはテーマに沿って行い、①次年度についてと③アフターコロナについては同時進行で考えました。

①次年度について、③アフターコロナについて
・社会奉仕については、今年度もほぼ出来ているように思いますので、来年度も引続き実施したい。他に提案あればその都度検討し、実施していければと思います。

・海外奉仕については、コロナの関係で今年度も交流が出来ていないので、来年度は是非実施したい。
・例会での席配置について、従来通りの配置に戻し、会員同士の親睦を深めたい。

②50周年について

・「50周年は再来年であるので、来年度には、ほぼ全て決めなくてはいけないであろう。実行委員長は谷脇さんがやっていただける事は決まっていますので、谷脇さんを中心に委員会組織を作ります。そしてみなさん全員が協力していただくことが最大のクラブ奉仕である。」と、いうことを全員共有いたしました。

・決まっている事項は、春に記念ゴルフ、1月に記念式典、記念事業（講演他）です。

・記念ゴルフについては、3/12に田辺ロータリークラブの70周年記念ゴルフがありますので、それを参考にします。

・記念式典については、場所も未定ですので決めなくてはいけない。その中で、和歌山城ホール、マリーナホテル等意見が出ましたが、予算ありきのことですので、今後委員会の方で検討して頂きます。

・記念誌については、最近デジタル化が進んでいる。大切なことは、この50年間海南東ロータリークラブが地域社会にどのようにどれだけ貢献したか?ということを知っていただくことが再重要課題と認識しました。

・以前30周年記念には、本を寄贈した経緯もある。
・記念碑という案もあるが、高価なものになる。等

〇5組

発表：榎原 由紀子 君

①次年度について

・LINE や Zoom などを利用していききたい。例：週報など報告事項をLINEに挙げる

・例会へのzoom参加をもっと利用しやすいように、zoomの使い方を講習するのはどうか。運転しながらなど聞くだけの参加もできるので利用できれば例会参加者も増えるのでは。

②50周年について

・記念ゴルフ、記念ボーリング大会
・記念グッズを製作(リュックタイプのロゴ入り袋バック、エコバッグなど)
・記念1泊旅行(忙しい人は日帰りもできるように近場などで。温泉などでゆっくりしながら皆で交流したい)
・記念写真展など展示会(ノビノスなどで、テーマ



を決めて一般募集もしながら)

③アフターコロナについて

・コロナ前に参加したように、地域の催しや祭りなどに協力参加する。(海南ふるさと祭りや、りら創造芸術高校の催しなど)

・会員同士交流しやすいように、例会の席配置を考えたい。

④その他

海南の地域の話などがたくさん聞くことが出来、海南の未来にも思いをめぐらせる会だったと思いました。

7. 閉会点鐘

次回例会

第2132回 2023年3月27(月)

海南商工会議所 12:30

ゲスト卓話

海南市観光協会 会長 野田 智也 様



ニコニコ・BOX

山名 正一 君

魚谷先生、IDM発表ご苦労様です。

田岡 郁敏 君

昨日、家族が甲子園に私は大阪場所観戦に行きました。

IDM 3組

IDMの残金

Rotary NEWS

専門性を生かす 平和部隊



ロータリー会員と平和部隊 (Peace Corps) ボランティアは、世界各地で協力し、双方の団体の活動に活力をもたらしています。

米国政府が創設した独立機関である平和部隊は、海外の地域社会にアメリカ人を派遣し、奉仕と文化交流を通じて国際理解を促しています。多くの国のロータリークラブが、平和部隊ボランティアを講演者として招いています。

「最も成功した平和部隊のプロジェクトの中には、現地地のロータリー会員が開始したものもあります」

と話すのは、平和部隊で戦略的パートナーシップ・政府間問題を担当するテッド・アダムスさんです。平和部隊のボランティアが奉仕活動の後にロータリーに入会することも珍しくありません。

「平和部隊の元ボランティアが、市民参加と交流を続ける場所としてロータリーを選ぶことも多い」とアダムスさんは言います。

効果的な協力の例として、ドミニカ共和国でスペイン語の書籍を配布しようとしていた米国のロータリークラブがきっかけとなった活動があります。ロータリーと平和部隊のパートナーシップを通じて、ドミニカ共和国の複数の学校に書籍が提供されたほか、ある学校では、平和部隊パートナーシッププログラム(PCPP)の少額の補助金によって新しい図書館も作られました。

「これは、リソース提供者である米国のロータリークラブ、書籍の受け取りを担当したドミニカ共和国のロータリークラブ、本を必要とする地域社会とロータリアンとをつなげた平和部隊ボランティアによる、三者のパートナーシップ」とアダムスさんは言います。

平和部隊は、派遣先の国にあるロータリークラブに連絡を取ることを新しいボランティアに奨励しています。アダムスさんはこう話します。「地域社会やビジネスのリーダーであるロータリー会員は、必要とされるプロジェクトを特定し、それを組織化して軌道に乗せることができます」

平和部隊ボランティアが能力開発を担当する一方、ロータリアンとローターアクトは現地の言語、慣習、人脈、地域の資産とニーズ、実施とリソースの手配など、地元の知識を生かしてプロジェクトを後押しできます。また、平和部隊ボランティアの帰国後に、クラブがプロジェクトの継続を見守っていくことができます。

このパートナーシップの基盤はロータリークラブと平和部隊ボランティアとのつながりですが、現在、平和部隊の現地事務局、ロータリー平和フェロー、ローターアクト会員といった幅広いグループとの関わりも深まりつつあります。



ポリオ根絶の枠組みを超えた存在

ポリオ根絶への貢献にとどまらない女性ワクチン接種員の意義

パキスタンのポリオ根絶活動では、女性が3分の2を占めています。経済参加と機会におけるジェンダー平等の順位が世界146カ国中145位(世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数による)であるこの国にとって、この女性の割合は驚くべきこと

です。

女性のワクチン接種員の役割は必要から生まれたものです。文化的規範のため、パキスタンで



は人の家に男性が入ることが許されません。医療ケアを提供する女性は、重要な役割を担っているのです。彼女らは母親同士のつながりを築き、ポリオだけでなくほかの健康問題についても信頼できるアドバイスを提供できます。

昨年、パキスタンのポリオ根絶活動家たちと面会したジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長は、「最前線における女性たちの協力が、目標を達成するための力となる」と話します。現在、野生型ポリオウイルスによる発症が起きている国は、パキスタンとアフガニスタンの二カ国のみとなっています。



ポリオ根絶の新兵器

根絶へとさらに近づくための改良型ワクチン

GPEIのパートナーであるビル&メリンダ・ゲイツ財団のスタッフは、従来の経口ワクチンに含まれる生ウイルスに手を加え、変異する能力を抑えることはできないかと考えていました。「最初の課題は、純粋に科学的なものでした」と、この取り組みに資金を提供し、主導したゲイツ財団のポリオチーム副ディレクター、Ananda Bandyopadhyay氏は話します。「どうすれば、ワクチンの免疫原性(免疫反応を引き起こす能力)を損なうことなく、遺伝的に安定したワクチンを作ることができるのか。それは本当に、本当に難しいことでした。」

ロータリーと協力団体がポリオ根絶をめざす世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)において、この20年間に発生している変種ポリオウイルスが大きな障害となっています。ポリオの発生は、数千年の間、自然界を循環し、現在もアフガニスタンとパキスタンの2カ国にある野生型ポリオウイルスが引き起こすものとは異なります。しかし、結果は同じです。どちらの種類でも、稀にウイルスによって身体まひが引き起こされます。



ポリオのない世界を実現するため、支援にご協力ください